



Maria Quintanilla 「失業対策プログラムの花壇整備」 (1990年頃)

企画展

MEETING CHILEAN ARPILLERAS

チリのキルト=アルピジェラに出会う

2013年5月3日～10月31日 大島博光記念館

アルピジェラは、もともと民衆の暮らしを描くチリの伝統的なタペストリーでした。1973年にピノチェトによる独裁体制が始まると、ポブラシオン（貧困地区）の女性たちが、このアルピジェラの技法をもちいて自分たちの経験や社会の実態を表現していくようになります。行方不明になった家族について訴えるものや、貧困地区の生活を描くものなどで、どれも日々の生活と経験に根ざした社会的・政治的メッセージに満ちています。今回展示される作品は1980年代後半から1990年にかけて作成されており、独裁時代の政治暴力を忘れまいとする意志や、新しい時代への希望を感じさせます。（酒井朋子 東北学院大学）

記念講演 「アルピジェラとチリの女性たち」

講師：高橋正明先生（元東京外国語大学教授、元チリ人民連帯日本委員会常任）

日時：2013年9月15日（日）15:00-17:30 会場：大島博光記念館

期間：2013年5月3日～10月31日

時間：10:00～17:00

休館日：月曜日（月曜休日の場合は火曜日）

会場：大島博光記念館 展示室 入場無料

上信越道：長野インターから2.5Km、車で約5分

長野新幹線：JR長野駅より松代行きバスで約30分、

神田橋バス停下車 歩約30分

または松代駅下車 タクシーで約5分

高速バス：新宿長野線等 長野インター前バス停下車、
タクシーで約5分 2.5Km



詩と歌の家 大島博光記念館 381-1233 長野市松代町清野 2567-1
電話・FAX 026-278-1004 メール sonoko28@dia.janis.or.jp

Oshima Hakko Museum Nagano Japan